

11 プラスチック系床仕上げ



床仕上げは建物の最終仕上げ

明治維新後、建築物の洋風化とともに欧米の内装仕上げ技術が導入されました。特に官公庁、病院、大型ビル等の床仕上げにおいては、塩ビタイル、塩ビシート等の施工が主流になっていきました。床は常に人間と接触する部分なので、凹凸が無く歩きやすい施工が求められます。



スパトラナイフ
溶接による接合部を
平滑にカットするための道具

競技概要

競技時間 4時間30分(1日)

競技はプラスチック系床材であるタイルやシートを用い、平坦な部分(平場)と階段部分に割り付け、カッティング、張り付けなどを行っていくものです。文字やパイプの周りなどは、特に繊細な技能が必要とされます。



第30回 競技課題

Point

本来硬い床材が、まるで紙を切るが如くに操られていきます。より美しく、より正確に仕上げることを競い合っていきます。各材料がすきま無く、自然な形で競技架台のなかに収まり、仕上がっていく様子が見所です。技能士のワザの出どころです。

